

4 その他の調査計画(案)

4.1 目的

本調査は、各モデル地域で懸念されている事項や、クリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と合わせて、漂流・漂着ゴミ削減方策を検討する上で必要な事項について調査・検討することを目的とする。

4.2 調査概要

本他調査は 9 項目の調査から構成されている。平成 19 年度に三重県で実施する主な調査の概要を表 1 に示す。

表 1 その他の調査の概要

調査名称	概要
漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関する調査	数値シミュレーションによる漂着経路の把握及び標識放流による漂着割合把握に係る調査を行う。
定点観測調査	各モデル地域において高頻度の定点観察を行い、漂着状況を経時的に把握する。調査方法は、デジタルカメラによる定期的な撮影（週 1 回）により行う。
漂流経路把握調査	伊勢湾における漂着経路を検討するため、三重県の 4 河川の河口部から流出するゴミの漂流経路を把握する。調査方法は、発信機装着ペットボトルを放流し、漂着経路を追跡する。
上記以外の「その他の調査」 医療系廃棄物に係る実態調査 観光資源価値向上の検討に係る調査 微細なプラスチック破片による生態系への影響調査 国内向け及び海外向け広報活動の検討 流域ゴミ問題ワークショップ(仮称)開催の検討 河口域及び海域におけるゴミ回収方法等に係る調査	

4.3 結果取りまとめ

その他の調査で行う各調査と、漂流・漂着ゴミの発生抑制・除去・漂着防止に係る各施策との関連は図 4-1 のようになると考えられる。これらの関連性に基づき、関連するクリーンアップ調査・フォローアップ調査の結果と併せて、各調査結果の解析を行い、漂流・漂着ゴミの削減方策の検討に向けた結果の取りまとめを行う。

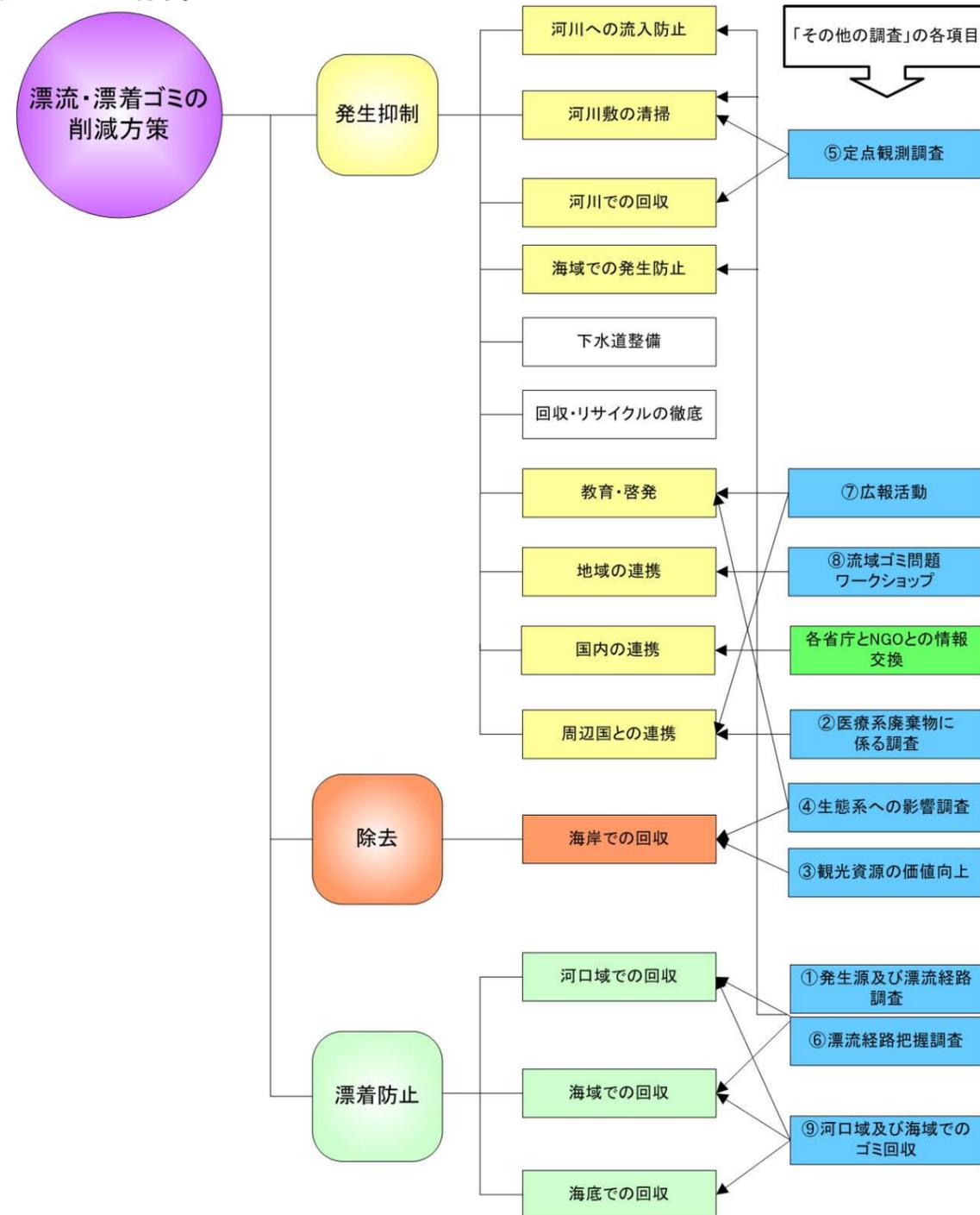


図 4-1 漂流・漂着ゴミの削減方策と「その他の調査」項目との関係

4.4 調査内容

4.4.1 漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査

本調査では、数値シミュレーションによる漂流経路の推定を実施する。

調査時期	平水時 1 回 出水時 1 回
調査対象	ペットボトルを対象とする。
調査方法	既往の各シミュレーション手法を比較検討し、ゴミの漂流経路シミュレーションに適した手法を選定する。物理環境データを整備し、ゴミの漂流経路シミュレーションを実施する。

4.4.2 三重県答志島における定点観測調査

デジタルカメラを用いて定点撮影を実施する。これは、2 ヶ月に 1 回実施するクリーンアップ調査を補完するものである。

撮影場所	奈佐の浜 (図 4-2)
通常時の撮影期間	2007 年 10 月 ~ 2008 年 3 月 20 日の毎週 1 回 (なるべく同じ曜日)
台風後の撮影	上記期間で、風雨が収まってから 10 日間連続 (土日を除く)
撮影者	市に委託



図 4-2 奈佐の浜の定点観測地点

4.4.3 漂流経路把握調査

伊勢湾(三重県沿岸)における漂着ゴミの削減施策立案のための基礎的な知見として、ゴミが漂流・漂着に至るまでの過程を把握することを目的とし調査を実施する。三重県の河川(4 本)を選定し、その河口部から流出するゴミの漂流経路を検討する。



ペットボトル様容器に装着を予定しているアルゴス発信機 (Microwave Telemetry 社製 LC4:長さ72mm×幅22mm×23mm)

